

(別紙)

採用予定官職及び研究課題

農林水産政策研究所

採用予定官職	研究課題と研究業務内容	任用期間
役職：農林水産政策研究所 主任研究官 官職：農林水産技官	「フードチェーンのレジリエンス評価に関する研究」 近年の食料価格の高騰の背景には、直接的な契機となった紛争ばかりでなく、気候変動の激化など多様な要因による供給ショックが存在し、今後も食料供給に大きな影響を及ぼす事象の発生が懸念される。食料価格への影響を軽減するためには、フードチェーン内の構造の理解と対策を通じた食料供給におけるレジリエンスの確保が必要となる。このため、国内外に広がるフードチェーンをマクロ・セミマクロ・ミクロといった複数の分析階層から捉えることにより、レジリエンスの現状を評価し、課題とその解決に向けた方向性を探る調査研究を実施する。 このため、国内外の食品流通に関連する施策の知識を有するとともに、ミクロ経済学、マクロ経済学、計量経済学の分析手法に精通している必要がある。	令和9年4月1日予定
役職：農林水産政策研究所 研究員 官職：農林水産技官	「経済学理論と計量経済学を用いたフードチェーンの構造評価に関する研究」 近年の食料価格の高騰を理解するためには、データ分析を通じた価格伝達プロセスの検証が必要がある。ただし、取引の多くは完全市場に近い状況にはなく、様々な契約取引が行われていることから、ミクロ経済学・ゲーム理論等の経済理論の観点から各経済主体のふるまいの合理性について検討し、理論面と実証面双方からの課題の検討を行う。 このため、食料供給の実態面に対する理解に加え、時系列データ解析に関する知識やミクロ経済学等を用いた理論モデルを構築する能力が求められる。	令和9年4月1日予定